



シンポジウムは「市民の命に責任を持つ一番身近な政府から」
パネリストには、国に先んじてコロナ対応をしてきた世田谷区の保坂区長、参加型民主主義を実践し始めている杉並区の岸本区長、勇気を持って平和都市宣言を生かした施策を進めている米原市の平尾市長の3名。

保坂氏から、区が国に先んじてコロナ対応してきたが、のちに国が追いついていった。岸本氏から、大事にしていることは、公共の再生、参加型民主主義、地域経済を民主化する。参加型の一つとして、森林環境譲与税の使い方の一部を市民で決めてもらう。ものをいう市民だけでなく、くじ引き民主主義も入れる。

また、世田谷区、杉並区で公契約条例を制定。



分科会1では、「コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障」をテーマに雨宮処凛さんを軸に、現場で起きていること、その解決方法について聞いた。

2007年の年越し派遣村の時と比べて、コロナ禍の時は、若年化が進み、女性の割合が増えている。東京都は、ネットカフェ難民のために、チャレンジネットという事業で、ホテルを借り上げ、提供したが、昨年10月で終了してしまった。

元々女性は貧しかったが、コロナ禍でますます貧しくなった。

会場から、それぞれの自治体で独自の生活困窮者支援事業の報告があった。茨城市では、市営住宅をシェアハウスとして提供。



2日目

分科会2 「気候変動対策待ったなし！自治体からの取組みこそが重要」

前真之さん（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授）から、脱炭素の主役は住宅。「脱熱気密」「高効率設備」「太陽光」必須アイテムだと。そしてその推進役は地方自治体だ。既存住宅、公営住宅、賃貸にも断熱を進めるべき。

また、学校の断熱化は早急にすべき。最上階の天井の断熱、換気、内窓設置などをすることで、子どもたちの健康を守ることができる。

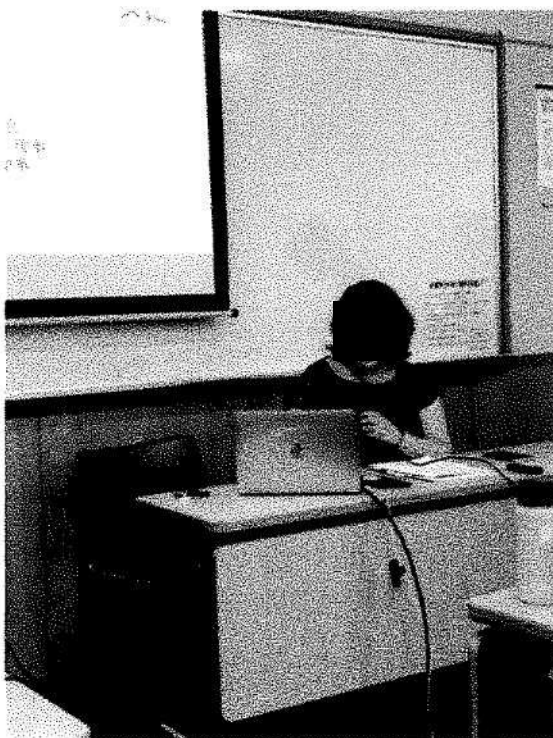
浜松の学校もいくらエアコンがあっても、暑い。新築、改修するところから断熱するようにできないかとの提案あり。



市民の手によって、気候市民会議を実施した稲田素子さん（脱炭素川崎市民会議実行委員）から、経過と結果について。そのほか、武蔵野市、日野市の事例も聞く。

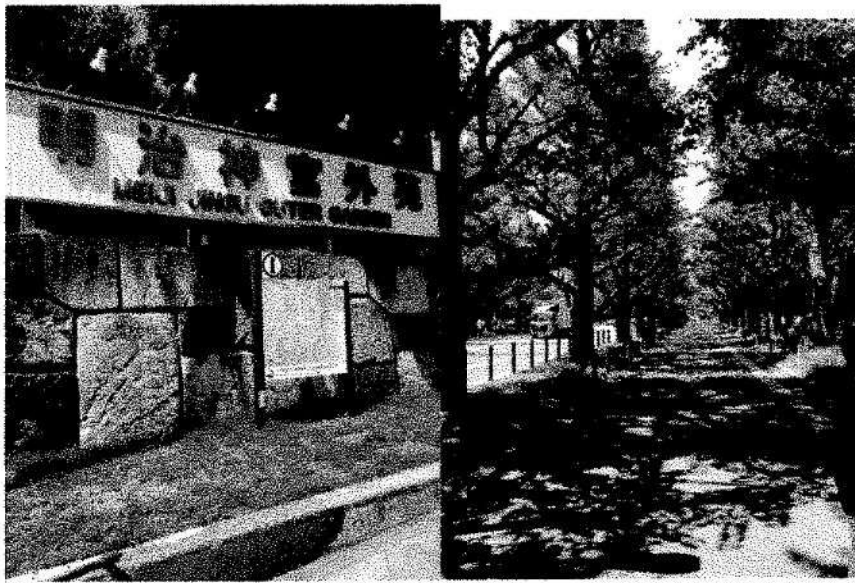
気候市民会議とは、市民の熟議の場を増やし、政策決定会の参加を拡げる制度でヨーロッパから実施。日本では2020年札幌。その後関東圏の自治体の実施。無作為抽出の市民の参加があるのが特徴。

浜松でも実施できないか、さらに調査研究したい！



2日目の午後は、フィールドワーク

神宮外苑の再開発で、樹木が1000本近く伐採、移植される、高層のビルが建つことによって景観が大きく変わることなどに対して、異議申し立てをしている地元の方々の話を現場で歩きながら聞いた。実際に歩くことで、計画の危険さがからだで理解することができた。



その後、神楽坂の街づくりについて、住民であり、実際にアクションしてきた弁護士さんから、やはり街を歩きながら、話を聞いた。20 数年前の超高層マンションによる景観紛争を契機に、地域の公式な合意形成組織を設立し、地区計画（神楽坂通りに面した建物の壁面を極力揃える。地上階は6階までなど）を策定。また、まちなみルールも作成し、神楽坂の風情ある路地空間を守る取り組みをしてきた。

いつの間にか、都市計画決定をされていて、開発が進んでしまい、その後に活動してもなんともならない。その前に時点に情報知り、対応していかななくてはならないと。



この2つのことは、ここの町だけでのことではなく、浜松でも同じようなことが起きる可能性がある。

<感想>

2日間の研究集会は、刺激がいっぱいで学ぶことが多かった。公共の再生、参加型民主主義、公契約条例、女性の貧困、住宅や学校の断熱化、気候市民会議、都市計画を踏まえたまちづくりなどについては、さらに調査を進めていきたい。

全国政策研究集会 2023 in 東京
領 収 証

五松市政向上委員会 様

5,000 円

但し 政策研究集会参加費として

2023 年 8 月 18 日

全国政策研究集会 2023 in 東京 実行委員会

〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

領 収 書

No.

発行日 2023年8月18日

様

五松市政向上委員会

金額 ¥5,000-

但し

オプショナルツアー参加費として

上記正に領収いたしました

自治体議員政策情報センター 虹とみどり

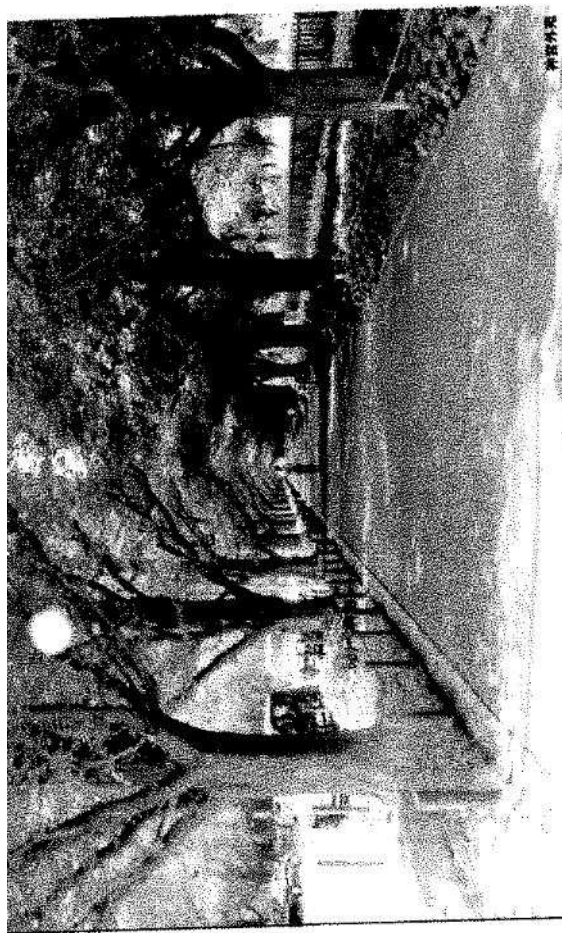
〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F

TEL : 086-244-7723

担当 :

収入
印紙

内訳	
税抜金額	
消費税等	



神宮外苑

8/18 金曜日
8/19 土曜日
8/20 日曜日
会場は、8/19(土)は、
8/20(日)は、
8/21(月)は、

国立オリンピック記念青少年総合センター

自治で創る命の安全保障

「自治体からの平和の提言」

廣瀬克哉さん(法政大学教授)

「市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から」

保坂展人さん(世田谷区長)

岸本雅子さん(杉並区長)

平尾道雄さん(米原市長)

1 地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

中島修さん(元北海道栗山町議会事務局長)

徳田勝彦さん(中央大学法学部教授、元都立市市長)

2 コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

南雲純彦さん(作家、政策ネットワーク代表)

3 気候危機対策待ったなし！自治体からの取組みこそが重要

前原之さん(東京大学工学部工学系研究科環境学専攻 准教授)

新田雅子さん(国府川町まちづくり推進委員会、NPO法人かわさき市民アカデミー代表)

4 すすめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策

青木八重子さん(NPO法人パートナーシップを代表)

主催/全国政策研究集会2023in東京実行委員会
協力/自治体議員政策情報センター 虹とみどり 平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議
グリーンユースキャンペン関西 全国フェミニスト議員連盟

参加費(1日でも2日でも)

- 政策情報センター会員議員 — 5,000円
- 非会員議員(区市町村・都道府県議) — 10,000円
- 市長 — 5,000円(協賛費)
- 小規模自治体議員(5万人以下) — 3,000円
- 町村議員(会費、非会員問わず) — 3,000円
- 一般 — 1,000円
- 学生 — 無料

※オンラインの場合は参加費は同じです。

申し込み方法

右QRコードから
お申し込みください。



オンラインは当日まで
お申し込みいただけます。

8/18(土)
8/19(日)
8/20(月)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 <https://nyc.niye.go.jp/wp/>

アクセス

JR有明線 代々木駅 徒歩約10分	京急本線 約16分 品川駅乗り換え
JR山手線(外回り) 約23分 新大塚駅乗り換え	JR山手線(内回り) 約23分 新大塚駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約3分	小田急線 各駅停車 約3分
参道駅 下車 徒歩約7分	参道駅 下車 徒歩約7分
小田急線 各駅停車 約3分	小田急線 各駅停車 約3分
参道駅 下車 徒歩約7分	参道駅 下車 徒歩約7分
京王バス	京王バス
新大塚駅西口(16番)より 運行系統「西1」 徒歩約1分	代々木5丁目停留所 下車 徒歩約1分
渋谷駅西口(40番)より 運行系統「西1」 徒歩約1分	代々木5丁目停留所 下車 徒歩約1分

参加のお申し込み、お問い合わせは

自治体議員政策情報センター

虹とみどり

<http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html>

〒700-0971 岡山県北野田5-8-11 かつらぎ町北野田ビル2F

自治体議員政策情報センター 虹とみどり

電話 086-244-7723 Fax 086-244-7724

jchitiga@jouhou@gmail.com

自治で創る命の安全保障

8/18 金曜日 12:30~
受付 12:30~

挨拶

12:50~
上原公子さん (自治体議員政策情報センター長、元国立市長)

自治体からの平和の提言

13:00~14:20

廣瀬克哉さん (法政大学教員)

国連改革の研究者として著名な廣瀬克哉さんですが、実は法政大学の平和・軍事研究の講座が研究人生の出発点でした。その時点で「平和と軍事」を執筆された時の「専門家でないかわからないことばかりだが、専門家になさるわけにはいかない」との言葉はその後の廣瀬さんの研究活動にもつながります。今回、危機を迎える平和をめぐる状況に自治体でできること、今一度地方分権をすすめるためのヒントをいただきます。

市民の命に責任を持つ 一番身近な政府から

14:40~16:10

パネリスト 松本麻子さん (世田谷区長)

松本麻子さん (杉野区長)

平瀬達哉さん (米原市長)

コメント 廣瀬克哉さん (法政大学教員)

今、市民の命はコロナ危機や経済危機そして戦争の危機の中で脅かされています。市民の命は市民自治に基づき自治体の民主主義の強さの中で守られます。市民の命に責任を持つ一番身近な政府である自治体は、医療や介護、災害救助分野で、人権・ジェンダー平等分野で、防災・福祉分野で、環境分野で、経済分野で、その課題を拡大することができ、自治体のリーダーが「自治で創る命の安全保障」について徹底討論します。

1 分科会

地方議会を討論の広場に ～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

16:30~18:30

コーディネーター 堀江清彦 (中央学院大学教授、元後援者市長)

今、多くの地方議会は、議員間の討論をほとんど行っていない。しかし、議会を「討論の広場」と位置づけ、議員間や市民との自由闊達な討論を行い、行政の改善に向けた提案に対する修正も積極的に行っている自治体があります。全国初の議会基本条例で知られる北海道栗山町議会の実践を学び直し、本会の機会へ一歩近づけるための手がかりを探ります。

2 分科会

コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

16:30~18:30

廣瀬克哉さん (作家、政策ネットワーク世話役)

困窮の状況により深刻化しています。コロナにしても物価高騰にしても、一番に影響を受けるのは元から不安定な経済状況にあった人々たちであることは疑いの余地がありません。長年、困難を克服する現場に携わってきた廣瀬克哉さんと対談形式で困窮のリアルと生活保障の在り方を考えます。

19:30~ 交流会

新型コロナウイルスの感染状況などにより開催が中止になる場合があります。



上原公子



廣瀬克哉



松本麻子



平瀬達哉



堀江清彦



廣瀬克哉

2022年ロシアのウクライナ侵襲でグローバル経済の脆弱性が明らかになりました。エネルギー問題や食糧自給問題などの課題で地域循環型社会の重要性が増してきました。国政では軍事費増と税金投入、そしてこうした重要課題への国民の意見が反映されていません。その姿勢は地方自治体レベルにまでつなげていけません。今一度、地方自治が力を発揮し、自己決定権を持って、地方発信でやれることを全国集会で話し合います。

8/19 土曜日 9:15~
受付 9:15~

3 分科会

9:30~11:20

気候危機対策待ったなし！自治体からの取り組みこそが重要

廣瀬克哉さん (東京大学工学部教授、気候変動政策研究センター長、元後援者市長)

廣瀬克哉さん (気候変動政策研究センター長、元後援者市長)

人類を含む生物系を脅かす気候危機は深刻さを増しています。削減などの削減と太陽光などの再生エネルギーを組み合わせる「気候に強い社会」を構築する住宅で、電気代の負担を減らし、地域の雇用を創出しながら実現する気候変動、くじ引きなどで選ばれた一部の自治体が先行し、結果を政策に生かす「気候市民運動」。自治体からの着実な取り組みこそが希望です。



廣瀬克哉

4 分科会

9:30~11:20

すめよう！子育て支援 必要なの？少子化対策

青木八重子さん (NPO法人パートナーシップなつめ代表、元後援者市長)

子ども・子育て支援法の施行、子ども家庭支援の強化...「子育て支援」の自治体役割

争ばかりが目立ちますが、少子化は止まりません。子育て支援と少子化対策を混同していませんか？「母になるなら親山市」「父になるなら親山市」で評判の千葉県流山市の子育て支援策と、これからの少子化社会への「選別策」を考えます。



青木八重子

11:30~11:50

まとめの全体会

各会場のままオンラインで実施

オンライン参加

神宮外苑再開発フィールドワーク 8/19

集合 13:00
国立オリンピック記念
青少年総合センター出入口
開場 13:30~14:30 神宮外苑
開演 15:00~16:30 神宮外苑
解散 17:00 東京駅

東京の歴史的景観・環境破壊とまちづくり、攻防と成功例の現場へ
歴史的景観や建造物を壊して超高層ビルを林立させる神宮外苑地区再開発事業に
対して、東京都は本年2月に施行を認可しました。象徴的景観である「いちよう
並木」の保全や大量の樹木伐採などをめぐる攻防の激しい現場を歩きます。一方、
高層マンション紛争を経て、伝統を活かした賑わいのある商店街を築いた神楽
坂を歩き、経過に深くかかわった日蓮宗僧弁慶士（景観と住環境を考える全国
ネットワーク代表）のお話も伺います。

参加費 5,000円
(バス代、昼食代20名)
申込締切 7月31日まで

(様式6)

旅 費 支 払 証 明 書																						
出張年月日	令和5年8月18日～19日																					
出張先(目的)	国立オリンピック記念青少年総合センター																					
出張者氏名	鈴木 恵																					
旅 費 額 内 訳																						
項 目	金 額	備 考																				
交通費	15,820円	詳細は下記および別紙添付																				
日 当	3,000円	@1,500円×1人×2日																				
宿泊費	14,800円	@14,800円×1人×1泊																				
合 計	33,620円																					
<table border="1"><tr><td>金 額</td><td></td><td>百</td><td>拾</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>拾</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>¥</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>2</td><td>0</td></tr></table>					金 額		百	拾	万	千	百	拾	円				¥	3	3	6	2	0
金 額		百	拾	万	千	百	拾	円														
			¥	3	3	6	2	0														
上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。																						
令和5年8月30日																						
会 派 名 浜松市政向上委員会																						
代 表 者 鈴木 恵 																						
(署名又は記名押印をしてください。)																						
<詳細>																						
JR 新幹線 浜松駅～東京駅 (7,910円×2) ×1人=15,820円																						

<別紙 領収書添付欄 1>

領 収 書		大松市双白上委員会 様
Receipt	2023.-8.18	
領収年月日	2023.-8.18	
金額	¥15,820 (消費税等込み)	
上記金額に領収いたしました		
購入商品	JR乗車券類 JR tickets	
(60853 4枚)		
東海旅客鉄道株式会社		
浜松駅		
浜松駅MV2発行	00854-01	
		印紙税申告納 付につき名古屋中村 税務署承認済

(様式8)

令和 5年 8月 14日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者 鈴木 恵

様

会派名 浜松市政向上委員会
氏 名 鈴木恵

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和5年8月24日(木) 13:00～17:00

参議院議員会館(東京)

3 目的

LGBT自治体議員連盟の研修会に参加し、当事者の方からLGBTの貧困問題、子育て問題などについて聞き、浜松のLGBT施策に反映していくことを目的とする。

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名

印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

令和 5 年 8 月 29 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市政向上委員会 代表者 鈴木 恵	
報 告 書	
出張年月日	令和 5 年 8 月 24 日 (木)
出張先	参議院議員会館 (東京)
出張の理由	LGBT 自治体議員連盟の研修会に参加し、当事者の方から LGBT の貧困問題、子育て問題などについて聞き、浜松の LGBT 施策に反映していくことを目的とする。
出張者氏名印	鈴木 恵 
(出張の顚末) 別紙参照	
(備考)	

参議院議員会館で開催された LGBT 自治体議員連盟の研修会に参加した。

●LGBT と貧困～ハウジングファーストの活動から～

<概要>

LGBT ハウジングファーストを考える会・東京の ████████ 事務局長から、説明があった。

LGBT ハウジングファーストを考える会は、貧困などを理由に住まいを失った当事者へのシェルター提供と社会復帰に向けた居住支援をしている。2018 年より、東京都内で個室シェルター（現在は 2 部屋）を運営していて、これまでに 18 人が自立生活に向けた準備のために利用。LGBT 関連団体や生活困窮支援団体などに関わってきた専門職有志によって支援体制を整えている。

社会的に LGBT への理解が深まってきたが、職場、学校、地域社会などの小さなコミュニティでは一人ひとりの当事者の具体的な姿が可視化されていない。また、多くの当事者はカミングアウトしていない。

過去 10 年に精神保健福祉手帳を取得したことがある LGBT 当事者は 18.2%。支援者や周囲とのコミュニケーションが不十分なために、適切なサポートにつなげることができにくい。そのため、貧困に陥るケースがある。

同性パートナーから暴力被害を受けた男性が利用できる公的シェルターは現在ない。更生施設や無料低額宿泊所などの多くはスペースは共有のため、いじめや暴力を受けてきたゲイ・バイセクシュアル男性には馴染みにくい。また、男女別に分かれていることで、トランスジェンダー当事者が利用できない

以上のことから、ハウジングファーストを立ち上げ、個室シェルターを開設した。プライバシーへの配慮、社会復帰に向けて安心できる場とサポートを一体的に提供している。

入居は基本的に 3 ヶ月を目処に設定。状況に応じて延長もできる。シェルターを居住地にして生活保護申請をすることもある。就労支援などは専門機関（就労継続支援事業所など）につなげる。

2018 年末から現在まで、62 件の相談、18 人がシェルター利用。40 代が多いが近年はユースのトランスジェンダーからの相談が多くなってきている。相談者はセクシャルマイノリティだけでなく、精神障害、軽度知的障害、依存症、HIV などの障害や疾患があるケース、家族や同性パートナーからの DV を経験しているケースは多い。親からの虐待を受けてきた未成年のトランスジェンダーや同性愛が非合法となる国から逃げてきた難民など、生活困窮支援制度

が利用しにくいケースも増えてきている。
具体的なケースを提示して、説明。

<感想>

集団生活を前提とする今ある福祉施設では、使えない人たちがいること。虐待を受けてきた未成年、海外からの難民、男性のDV被害者など既存の社会福祉制度の対象になりにくい人たちがいること。改めて知ることができた。住まいや収入だけでなく、医療、就労、被害者支援、行政手続きなど、ニーズを整理し、必要なサービスとつなげるソーシャルワークの機能が絶対必要。

LGBT当事者だけに関わらず、集団生活に合わない人、既存の社会福祉制度の間にいる人が浜松にもいるはずだ。

先日、同性パートナーから暴力を受けているとの匿名の相談を受けた。その時も相談窓口や逃げる先が見つからなかった。LGBTハウジングファーストを考える会は民間運営で、公的な助成が入っていないが、今後はソーシャルワーク付きの公的個室シェルターが必要になってくるだろう。

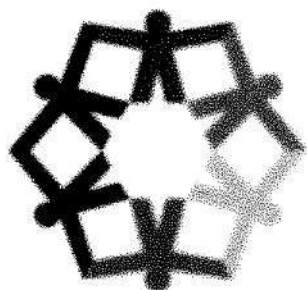
<参考に>

尼崎市では、市営住宅の目的外使用で市民団体に貸出をしている事業（REHUL）が始まってきている。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/res/projects/default_project/page/001/030/115/040330-01-03.pdf

世田谷区のらぶらすでは、LGBT支援者養成講座を開催している。





2023 年 夏

LGBT 自治体議員連盟研修会

各分野で活躍をされている LGBT の当事者の話を聞き、参加された議員のみなさんがそれぞれの自治体で活力ある地域づくりに向けて様々な角度からの地域を見つめなおすとともに、これからの各自治体の LGBT 施策について考えます。

日程 8 月 24 日(木) 13:00~17:00 (12:50受付開始)

内容

13:00~14:25 (12:50 より受付)	講座1 LGBT ハウジングファースト ~LGBT の貧困を考える 講師:LGBT ハウジングファーストを考える会・東京 事務局長 〇〇 氏	下記の B107
14:25~15:05	懇談時間(名刺や活動報告の交換など)	B107
15:20~17:00 (15:10 より受付)	講座2 パートナーとの子育て ~実子や連れ子、あるいは里親の子育て 登壇者:子育て中のゲイ・レズビアンの方々	B107
17:30 頃~	懇親会	場所未定

場所 参議院議員会館 B107 会議室 (東京都千代田区永田町2丁目1-1)他

対象 自治体議員で各自治体の LGBT 施策に関心がある方 (元議員・候補者含む)

主催 LGBT 自治体議員連盟

募集人員:約 70 人 (懇親会定員未定。会場の都合により 70 人未満となる場合があります。)

参加費: 3000 円 (懇親会代は別途)

(参加費は講師料や議連 HP の維持のための実費に使われます。)

申込期限:8 月 18 日(金)ごろ (申し込み多数の場合、早めに締切になる場合があります。)

申込方法: peatix にて URL: <https://peatix.com/event/3660137/view>

参考: LGBT 自治体議員連盟 HP <https://lgbtjgr.org/>

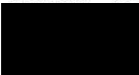
インターン生の同行:ローテーションでの会場外も含めた受付手伝い等に入っただけの場合は参加費なしでの同行可能です。

LGBTQ の当事者議員については午前中に意見交換の時間を持ちますので、ご連絡をください。

LGBTハウジングファーストを考える会・東京

LGBT
支援
ハウス

事務局長
社会福祉士 精神保健福祉士



〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックスNo.35
E-mail info@lgbthf.tokyo
U R L <https://lgbthf.tokyo/>

LGBTハウジングファーストを考える会・東京

LGBT
支援
ハウス

運営委員
行政書士 社会福祉士

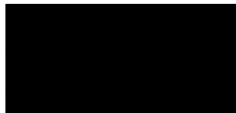


〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックスNo.35
E-mail info@lgbthf.tokyo
U R L <https://lgbthf.tokyo/>

PRIDE HOUSE TOKYO LEGACY



プライドハウス東京レガシー



〒160-0022 東京都新宿区新宿1-2-9 JP 新宿御苑ビル2階
2F JP Shinjuku Gyoen Building, 1-2-9, Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo
TEL : 03-6384-1655
E mail : legacy@pridehouse.jp

www.pridehouse.jp

領 収 証

2023 年 8 月 24 日

浜松市政向上委員会 様

¥3,000-

但 LGBT自治体議員連盟 2023 夏研修会参加費として
上記正に領収いたしました。

LGBT自治体議員連盟 2023 夏研修会会計 小原明夫

旅 費 支 払 証 明 書																											
出張年月日		令和5年8月24日																									
出張先(目的)		参議院議員会館																									
出張者氏名	鈴木 恵																										
旅 費 額 内 訳																											
項 目	金 額		備 考																								
交通費	15,820円		詳細は下記および別紙添付																								
日 当	1,500円		@1,500円×1人×1日																								
宿泊費	円		@14,800円×1人×0泊																								
合 計	17,320円																										
<table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>金 額</td> <td></td> <td>百</td> <td>拾</td> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>拾</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </table> 上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。 令和5年8月30日 会 派 名 浜松市政向上委員会 代 表 者 鈴木 恵 [印] (署名又は記名押印をしてください。)										金 額		百	拾	万	千	百	拾	円				¥	1	7	3	2	0
金 額		百	拾	万	千	百	拾	円																			
			¥	1	7	3	2	0																			
<詳細> JR 新幹線 浜松駅～東京駅 (7,910円×2) × 1人 = 15,820円																											

<別紙 領収書添付欄 1>

領 収 書		浜松市政向上委員会 様	
Receipt	領収年月日	2023.-8.24	
金額	¥15,820 (消費税等込み)		
上記金額届かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類 JR tickets		
(10008 4枚)		印紙税申告納	
東海旅客鉄道株式会社		付につき名古屋中村	
浜松駅		税務署承認済	
浜松駅MV1発行	20009-02		

(様式8)

令和 5 年 9 月 26 日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者 鈴木 恵

様

会派名 浜松市政向上委員会
氏 名 鈴木恵

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和 5 年 9 月 30 日 (土) 14:00～16:30

静岡県男女共同参画センターあざれあ

3 目的

浜松市内でも、子どもへの性暴力が後を絶たない。そこで、ワークショップ「子どもを性暴力から守るために」に参加し、実際に性暴力にあった方の手記と関わった支援者の証言から、どのような支援ができるのか、様々な立場の方と学ぶ機会とする。浜松で足りていない支援が何なのか、見つける機会にもしたい。

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名

㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

第1回ワークショップ「子どもを性暴力から守るために」

静岡県内でも、子どもへの性暴力が後を絶ちません。

私たちに何ができるでしょうか。

また、暴力に遭った人に、何ができるでしょうか。

一人の少女・女性の手記と、彼女に関わった支援者の証言(「ずっと助けてと叫んでた」)を手がかりに、多職種、様々な立場の方と率直にお話ができたらと思います。
ぜひご参加下さい。

日時:2023年9月30日(土)14:00~16:30(13:45 開場予定)

場所:あざれあ第2研修室(静岡県静岡市)

対象:性暴力被害者支援に関わる方

参加費:1000円

申込先:<https://child0930.peatix.com>

主催 フラワーデモ静岡ほか有志

問い合わせ:静岡大学

「ずっと助けてと叫んでた」紹介

子どもの頃性暴力被害に遭っていたほしおか十色さんと、彼女を支える支援者の方々のインタビューで構成したドキュメンタリー(イメージフォレスト制作)。

サイト:<https://www.child-help.info/> (詳細な取材記事、紹介が載っています)

※内容の性質上、トラウマのトリガーになったり、不調が生じることがあるかもしれません。無理をせずご参加下さい。

※今回はオンラインは設定していません。申し訳ありません。

※安心・安全のために、また職務の倫理として、参加者は守秘義務を負うものとします。

令和 5 年 10 月 2 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市政向上委員会 代表者 鈴木 恵	
報 告 書	
出張年月日	令和 5 年 9 月 30 日 (土)
出張先	静岡県男女共同参画センターあざれあ
出張の理由	浜松市内でも、子どもへの性暴力が後を絶たない。そこで、ワークショップ「子どもを性暴力から守るために」に参加し、実際に性暴力にあった方の手記と関わった支援者の証言から、どのような支援ができるのか、様々な立場の方と学ぶ機会とする。浜松で足りていない支援が何なのか、見つける機会にもしたい。
出張者氏名印	鈴木 恵 
(出張の顛末) 別紙参照	
(備考)	

「子どもを性暴力から守るために」報告

浜松市政向上委員会 鈴木恵

2023 年 9 月 30 日(土)

午前中掛川での予定があったので、東海道線で愛野駅から静岡に向かった。

静岡大学白井千晶教授の進行により、スタート。

性被害と、妊娠出産の関係について、講義。

性被害と、妊娠出産は、終わりが見えない、逃げられない、同じ身体の一部で起きるなど、似ている。そのことによって、妊娠・出産によって、被害者はフラッシュバック起こすことがある。支援者はそのことを肝に銘じないといけない。

支援者としては、本人自身がコントロールできるようにすること、対等であることを意識することが大事。

その後、実父から性虐待を受けた方をテーマにした、DVD「ずっと助けてと叫んでいた！」をみて、グループで、意見交換した。各地から参加した、様々な職種の方の話が聞けた。自立支援ホームの方、助産師、薬剤師、行政職員、女性相談者、大学関係者、市議など。

性暴力の影響は、様々なところに、長期間にわたってることが理解することができた。性暴力の問題、来年 4 月施行の困難女性支援法を使って、浜松でどう生かしていくかをさらに調査研究していきたい。



領 収 書

浜松市政 向上委員会

御中

No.

発行日 5.9.30

金額 ¥1,000 (税込)

但 不修費と17

上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額

消費税等

静岡大学白井千晶研究室
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部

TEL : 054-238-6835

(様式6)

旅 費 支 払 証 明 書																						
出張年月日	令和5年9月30日																					
出張先(目的)	静岡県男女共同参画センターあざれあ																					
出張者氏名	鈴木 恵																					
旅 費 額 内 訳																						
項 目	金 額	備 考																				
交通費	1,980円	詳細は下記および別紙添付																				
日 当	1,500円	@1,500円×1人×1日																				
宿泊費	円	@14,800円×1人×0泊																				
合 計	3,480円																					
<table border="1"><tr><td>金 額</td><td></td><td>百</td><td>拾</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>拾</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>¥</td><td>3</td><td>4</td><td>8</td><td>0</td></tr></table>					金 額		百	拾	万	千	百	拾	円					¥	3	4	8	0
金 額		百	拾	万	千	百	拾	円														
				¥	3	4	8	0														
上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。																						
令和5年10月4日																						
会 派 名 浜松市政向上委員会																						
代 表 者 鈴木 恵 																						
(署名又は記名押印をしてください。)																						
<詳細>																						
JR 愛野駅～静岡駅 (990円×2) ×1人=1,980円																						
※自宅～愛野駅の交通費は自己負担																						

〈別紙 領収書添付欄 1〉

領収書	
ご利用日付	2023年09月30日
時刻	12時43分
取引内容 乗車券	金 1980円
	伝票番号 26995
◆この領収書は大切に保管してください。	
◆毎度ありがとうございます。	
愛野駅 券101発行 Jマ東海	

NEWS

ARCHIVES

2023.09.25

2023

10/9(月・祝) お笑い芸人コンビ「マシンガンズ」の滝沢秀一さん講演会



【人気お笑い芸人コンビ「マシンガンズ」の滝沢秀一さんを浜松にお呼びします！】

こんにちは。LOCAL ACTION HAMAMATSUです。な、な、なんと！芸人兼ごみ収集員でもあるマシンガンズの滝沢秀一さんを、浜松にお呼びしますっ！！

滝沢さんは、約10年ほど前から芸人の傍、ごみ収集員を務め、その仕事の中から気づいたことを発信すると、多くの反響を得たそうです。そこからゴミの奥深さにのめり込み、今ではゴミと環境問題を専門とした芸人さんとして、知らない人はいないほどツイッターやインスタグラムでもゴミについて発信していますが、ご自身では「滝沢ゴミクラブ」というオンラインコミュニティーを発足させ、ゴミやSDGsについて情報収集や情報共有をしながら、みんなと一緒に学ぶ場を作っています。

また私自身もよく聞いていますが、Voicyというアプリで「滝沢ゴミラジオ」という番組も放送されていますよ！書籍は14冊出版されていますが、どれもさすが芸人さん★シリアスなゴミ問題ながら、笑いながら読める本ばかり色ゴミについて楽しく学べます。私自身も最初に読んだ「このゴミは収集できません」(白夜書房)がとても面白くて、それからラジオや本をよく読ませてもらっています。先日『THE SECOND』で準優勝をしたマシンガンズ。今後のご活躍が益々楽しみです！またとない機会なので、ご来場お待ちしております。

【講演会詳細】

●日時：10/9(月・祝)

9:30～受付開始

10:00～開演(講演90分+質疑応答30分)

12:00 終演

●場所：あいホール

静岡県浜松市中区幸三丁目3番1号

●参加費：大人2500円、子供1000円(小学生～高校生)

未就学児は無料

●お申し込み URL

こちらのフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/NReDgvBN9C5QnFzo9>

・お申し込みいただいた後、3日以内に事務局よりご予約確定のご連絡をさせていただきます。万が一事務局よりご連絡がない場合は、下記アドレスまでご連絡ください。

info@localaction4h.org

【講演者プロフィール】

滝沢秀一(たきざわしゅういち)

お笑い芸人兼ごみ清掃員

1976年、東京都出身。太田プロダクション所属。東京成徳大学在学中の1998年、西堀亮とお笑いコンビ「マシンガンズ」を結成。2012年、妻の妊娠を機に、ごみ収集会社で働きはじめる。ごみ収集の体験をもとにSNSや執筆、講演会などで発信している。2018年、エッセイ『このゴミは収集できません』(白夜書房)を上梓したあと、漫画『ゴミ清掃員の日常』(講談社)『ごみ育』(太田出版)などを出版。2020年10月、環境省『サステナビリティ広報大使』に就任。2023年5月、コンビとしてフジテレビ『THE SECOND～漫才トーナメント～』にて準優勝。著書14冊目の最新刊『ゴミ清掃員の日常～ゴミ分別セレクション』(講談社)が発売中。

＜ゴミとの付き合い方＞報告

2023 年 10 月 9 日 あいホール

講師 滝沢秀一さん(お笑い芸人 & ごみ清掃員)

さすが 12 年もごみ清掃員をしているだけあって、ごみ集積所に出されるフードロスの状況、高級住宅街と一般住宅街のゴミの出方の違いなど、ご自分で撮った写真で説明していただいた。お笑い芸人だけに時に笑いもあって、楽しく学ぶことができる会でした。

「ごみは人の心」

ごみはうそをつかない

ごみは生活の縮図

ごみはその人自身を表す

3Rに加えて4Rが必要 最後のRはリスペクト

など、経験を基づいた話は、刺さった。

ごみ減量を進めていく市民が増えるよう、今回の滝沢さんの話を広げていきたい。

